

※今月のみ受注の書目です。

社会(移民・難民) / 政治 ご担当者さま

日本の難民保護 出入国管理政策の戦後史

(2024 年 1 月中旬刊行予定)

土田千愛^{ちあき} (東京大学地域未来社会連携研究機構特任助教)[著]

A5 判上製 / 256 頁 税込予価 4,620 円 ISBN978-4-7664-2938-1 C3036

👉 ココに注目!

- ・日本政府は「庇護を求める者」をどのように管理してきたか。
- ・「難民鎖国」と言われる、日本の出入国管理政策の形成過程を明らかにする。

「難民鎖国」と言われるほど難民認定実績が閉鎖的な日本。しかし、ウクライナ避難民受け入れの影響等で、その難民政策は転換期を迎えている。本書は、戦後日本の出入国管理政策の形成プロセスを検証、日本政府が人権規範よりもその時々^{その時々}の外交・安全保障上での国益を重要視しながら戦略的に政策を形成・転換してきたことを明らかにする。

対象 (移民・難民問題を専攻する) 研究者、大学院生

類書 小泉康一『「難民」とは誰か』(明石書店)

【営業部からのおすすめポイント】

2021 年 3 月に発生した「ウィシュマさん死亡事件」以降、出入国在留管理庁の体制が問題視され、その翌年からはウクライナ避難民の受け入れが始まるなど、日本の出入国管理および難民認定は大きな岐路にさしかかっています。戦後日本の「難民政策」の形成プロセスを検証した本書は、今後の政策を考えるうえでも重要な文献となりますので、ぜひ積極的な展開をお願いします。

(乙子)

👉 主要目次、注文書、関連既刊を裏面に掲載! ぜひご確認ください!

【主要目次】

序 章 難民保護を問う

- 第1節 本書の問題意識／第2節 用語の説明／第3節 調査方法／第4節 分析の範囲
第5節 本書の構成

第1章 難民研究・移民研究と国境を越える人の移動

- 第1節 庇護と国家主権／第2節 国境を越える人の移動と国家主権
第3節 日本の難民研究／第4節 先行研究における課題と本書の位置付け

第2章 難民保護の前史

- 第1節 単一民族国家形成の試み／第2節 外国人登録令の制定と出入国管理令の制定
第3節 出入国管理令における政治亡命者への対応／第4節 政治犯罪人と政治亡命者
第5節 出入国管理令改正の試み／第6節 政治亡命者の保護に向けて／考察

第3章 インドシナ難民の保護から難民認定制度の成立へ

- 第1節 インドシナ難民の保護／第2節 「難民の地位に関する条約」への加入
第3節 難民認定制度の成立／考察

第4章 難民認定制度の再検討

- 第1節 瀋陽総領事館事件と難民認定制度の見直し／
第2節 新たな難民認定制度の成立／考察

第5章 「送還を促進すべき者」と「保護すべき者」

- 第1節 送還に関する問題の変容／第2節 「送還停止効」の例外規定の創設
第3節 補完的保護に関して／考察

終 章 日本の難民保護

- 第1節 日本の難民保護／第2節 難民研究・移民研究に対する学術的示唆
第3節 日本の難民保護に対する学術的示唆／第4節 今後の研究課題
第5節 難民政策の再検討へ向けた視点



ご注文は FAX で！ 03－3451－3124



新刊委託	番線	ご注文部数	発行所：慶應義塾大学出版会	税込予価	部数
			土田千愛 ^{ちあき} 著 日本の難民保護 一出入国管理政策の戦後史 ISBN978-4-7664-2938-1 C3036	4,620 円	★★

関連既刊（ぜひ併せてご注文ください!）

返品条件付注文品	番線	ご注文部数	発行所：慶應義塾大学出版会	定 価
			川村千鶴子編著 いのちに国境はないー多文化「共創」の実践者たち ISBN978-4-7664-2393-8 C0036	2,200 円
		ご注文部数	小泉康一・川村千鶴子編著 多文化「共創」社会入門ー移民・難民とともに暮らし、互いに学ぶ社会へ ISBN978-4-7664-2371-6 C0036	2,420 円
		ご注文部数	小泉康一 編著 「難民」をどう捉えるかー難民・強制移動研究の理論と方法 ISBN978-4-7664-2607-6 C3031	4,950 円

★1つで「500部」を表します